



AFFILIATE SYSTEM

アフィリエイトシステム

PRO2 設置マニュアル

このたびは、アフィリエイトシステムをご利用いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、主にシステムの設置について説明しています。

尚、内容はバージョンアップなどにより予告なく変更される場合があります。

1. インストール手順	3
1-1.圧縮ファイルの解凍	3
1-2.設定ファイルの編集	4
1-3.ファイルのアップロード	5
1-4.データベースの初期化	8
1-5.w3cディレクトリのアップロード	10
2.インストール後の設定手順	11
2-1.システム設置後の設定	12
2-2.管理画面へログイン	13
2-3.SSLの導入について	15
3. その他	16
3-1.エラー対処方法	17
3-2.インフォメーション	17

1-1.圧縮ファイル(ZIP形式)の解凍

ダウンロードしたパッケージのZIPファイル「afl_pro2_0.0.0.zip」を解凍ソフトで解凍します。
ZIPファイル名についている数字は製品のバージョンとなっています。

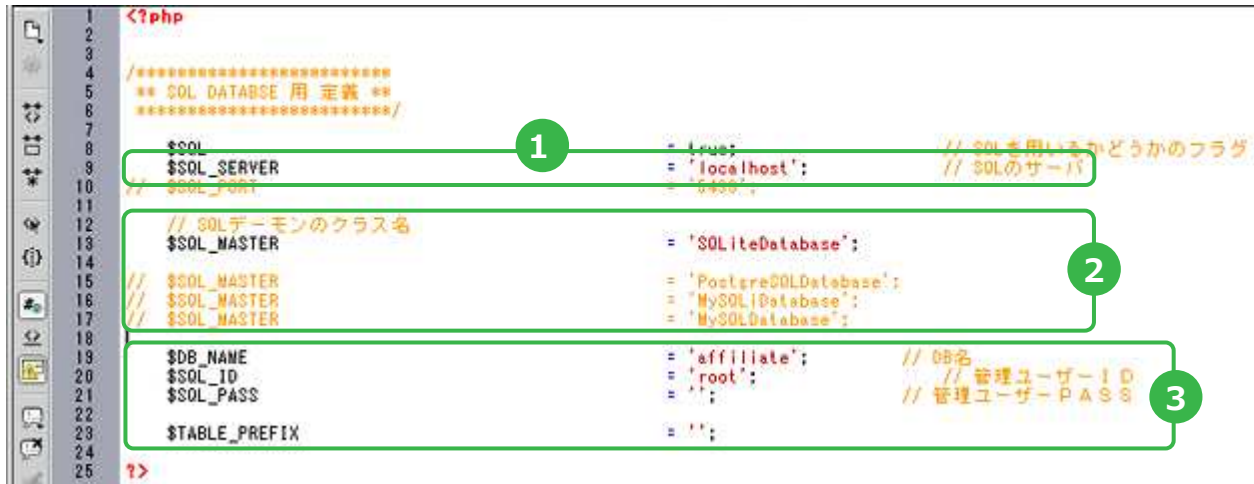


- 1 「afl_pro2_0.0.0.zip」を選択し、右クリックします。「解凍」からファイルの解凍先を選択します。

1-2.設定ファイルの編集

設置先の環境に合わせて、各種設定ファイルを書き換えます。

データベースの設定ファイル「./custom/extends/sqlConf.php」をテキストエディタで開きます。



1 「\$SQL_SERVER='localhost'」は、サーバー側の設定に応じて変更してください。

2 「SQLデーモンのクラス名」より、データベースを選択します。

標準ではSQLiteが選択されており、そのままSQLiteをご利用される場合は本項2、及び3について設定を行う必要はありませんが、MySQLでの運営を推奨致します。

設定するデータベースの先頭にあるコメントアウト「//」を外します。

デフォルトでは「SQLite」に設定してありますので、先頭にコメントアウト「//」を記述して無効にします。

【初期設定】

```
$SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
// $SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
```

【変更後の設定】

```
// $SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
$SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
```

これで、「MySQLDatabase」データベースに変更されました。

3 データベースに応じて、データベース名、管理ユーザーID、管理ユーザーPASSを設定します。

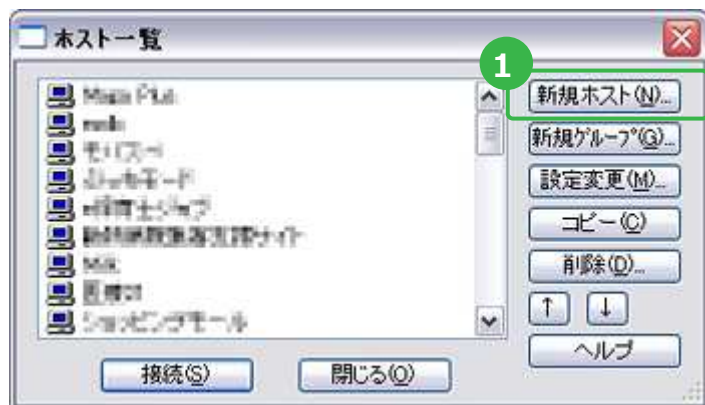
【初期設定】

データベース名 : affiliate
管理ユーザーID : root
管理ユーザーPASS : なし

※SQLiteに設定してある場合、ID、パスの設定は必要ありません

1-3.ファイルのアップロード（1）

FTPクライアントツールを利用し、パッケージファイルをサーバーにアップロードします。
フリーソフト「FFFTP」を使用してのアップロード方法を説明します。



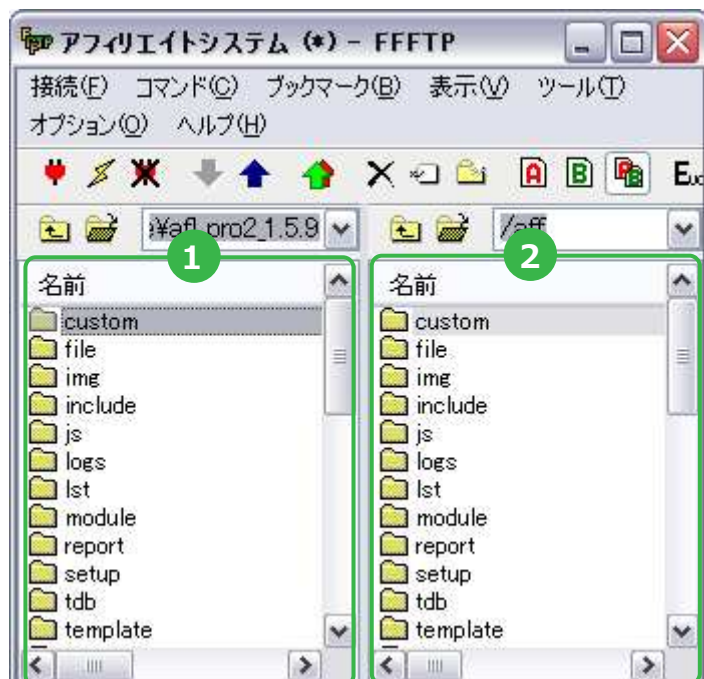
- 1 FFFTPアイコンをクリックすると、ホスト一覧が表示されますので、右横にある「新規ホスト」をクリックします。



- 2 「ホストの設定」画面にあるインデックス「基本」より、FTPアカウントを入力し「OK」ボタンをクリックすると、FTPサーバーに接続されます。

※ローカルの初期フォルダ（ファイルの保存先）を設定しておくと、アップロード・ダウンロード時に便利です。

1-3.ファイルのアップロード (2)



1 画面の左側は、ファイルの保存先が表示されます。

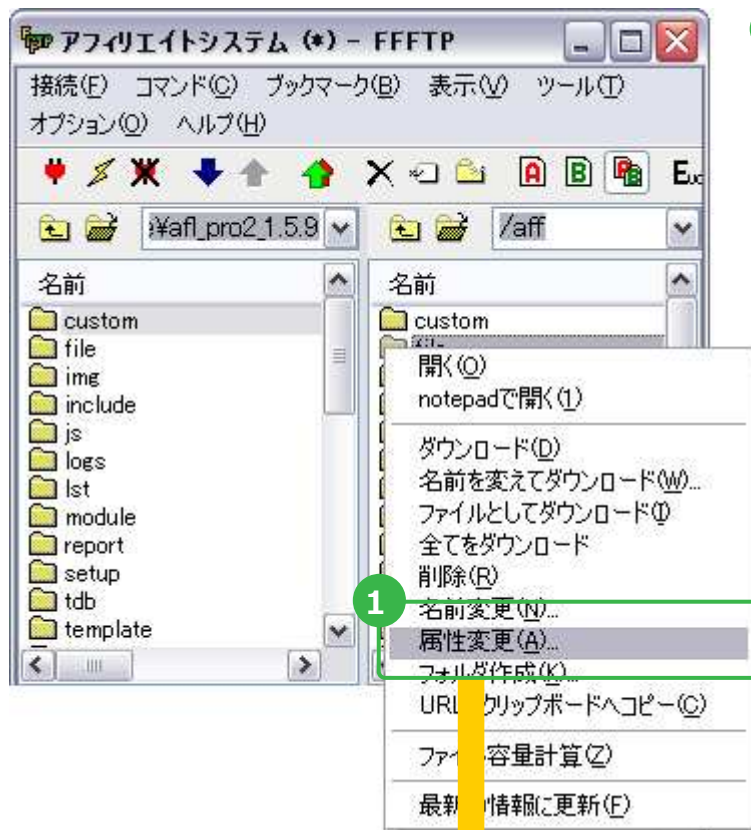
2 画面の右側は、FTPサーバーにアップロードされたファイルが表示されます。

保存先のファイルを全て選択し、ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードします。

アップロードするファイルの一覧です。

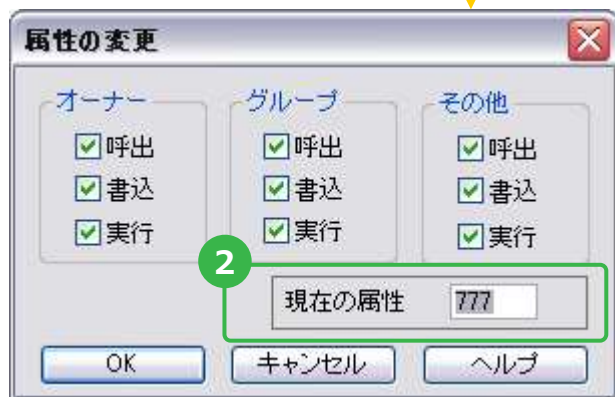


1-3.ファイルのアップロード (3)



- 1 画面の右側にあるアップロードされたファイルのパーミッションを変更します。

変更するファイルを選択し、右クリックで、「属性の変更」をクリックします。



- 2 「属性の変更」画面が表示されますので、「現在の属性」欄に下記の数字を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

./file/ →777
./file/以下にある全て →777
./logs/ →777
./logs/以下にある『*.log』全て →777
./tdb/ →777
./tdb/以下にある『*.csv』全て →777
./tdb/module/ →777
./tdb/module/以下にある『*.csv』全て →777
./report/→777

1-4.データベースの初期化（1）

データベースの作成

システムが使用するデータベースを作成します。

データベースの作成は、設置環境によって異なりますので、サーバーのマニュアルを参照ください。

データベースの文字コードは、「sjis」を指定して下さい。

参考)

phpMyAdmin等から操作を行われる場合は「sjis_japanese_ci」をご指定下さい。

ブラウザより「http://[設置先](#)/tool.php」にアクセスし、データベースの初期化を行います。



- 1 ログインフォームが表示されますので、初期設定パスワード「admin」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

<デフォルトのアカウント>

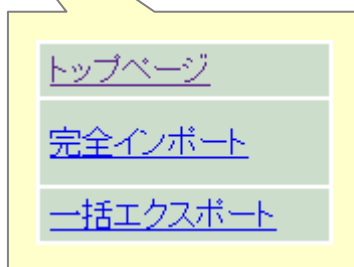
パスワード : admin

1-4.データベースの初期化（2）



- 1 ページの最下部にある「完全インポート」をクリックします。

※サーバーの状況により、非常に時間が掛かる場合があります。



- 2 「http://[設置先](#)/index.php」にアクセスしてシステムのトップページが正常に表示されていればインストールの完了です。

※tool.phpはご利用後、必ずサーバー上から削除して頂くようお願い致します。

※SQL導入後「./tdb/以下のデータ」等は削除して頂くか、パスワード設定を管理者様の責任で行って頂くようお願い致します。

1-5.w3cディレクトリのアップロード

広告認証形式にcookieを使用する場合は以下の設定が必要となります。
Internet Explorer等のブラウザでは、p3p プライバシーポリシーの設定が正しくない場合、クロスドメインでcookieを使用することができません。

ファイルの編集とアップロード

「w3c」ディレクトリに含まれる
「full.xml」と「p3p.xml」をテキストエディタ等で開いていただき、
「 <http://www.example.com/> 」を
アフィリエイトシステムを設置した環境に合わせて書き換えて下さい。

「full.xml」の記述内容、
「 example@example.com 」も合わせて書き換えをお願いします。

例) <http://www.websquare.co.jp/affiliate/> に設置した場合

URLの書き換え

「 <http://www.example.com/> 」を
「 <http://www.websquare.co.jp/> 」に書き換え

ファイルの編集が終わりましたら「w3c」ディレクトリをドメイン直下に設置してください。
パーミッション等の設定は不要です。

アップロード先

「 <http://www.websquare.co.jp/w3c/> 」

設定が正しく行えているかを確認するには、W3Cが提供しているP3P Validator等をご利用ください。
<http://www.w3.org/P3P/validator.html>

2.インストール後の設定手順

ここからは、サイトを運営するにあたっての設定手順についての説明です。

- 2-1.システム設置後の設定
- 2-2.管理画面へログイン
- 2-3.SSLの導入について

2-1. システム設置後の設定

ツールのログインパスワードを変更する

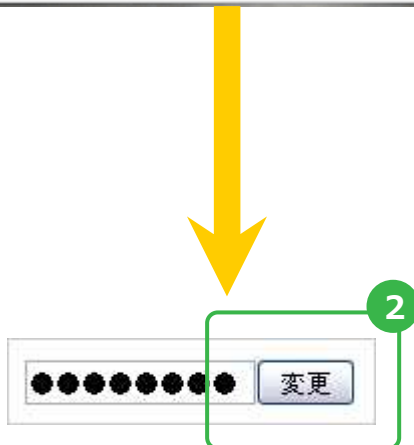
まずは、<http://設置先のURL/tool.php>にアクセスします。



デフォルトのパスワードを入力し、
「ログイン」ボタンをクリックすると、操作画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin



- 1 ページの下部にある「パスワードの変更」をクリックします。
- 2 新しいパスワードを入力し、「変更」ボタンをクリックして、「変更しました」と表示されたら完了です。

POINT

tool.phpは、データベースを操作する為の重要なプログラムです。

上記に従いパスワードを変更するか、御利用後は削除するかいずれかを必ず行うようお願い致します。

2-2. 管理画面へログイン（1）

管理画面へログインする

まずは、<http://設置先のURL/login.php>にアクセスします。

【 LOGIN - ログインフォーム 】

ご登録時のメールアドレスとパスワードを入力し、ログインしてください。

メールアドレス

パスワード

1

- 1 メールアドレスとパスワードを入力し、「[ログイン](#)」ボタンをクリックすると、管理画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

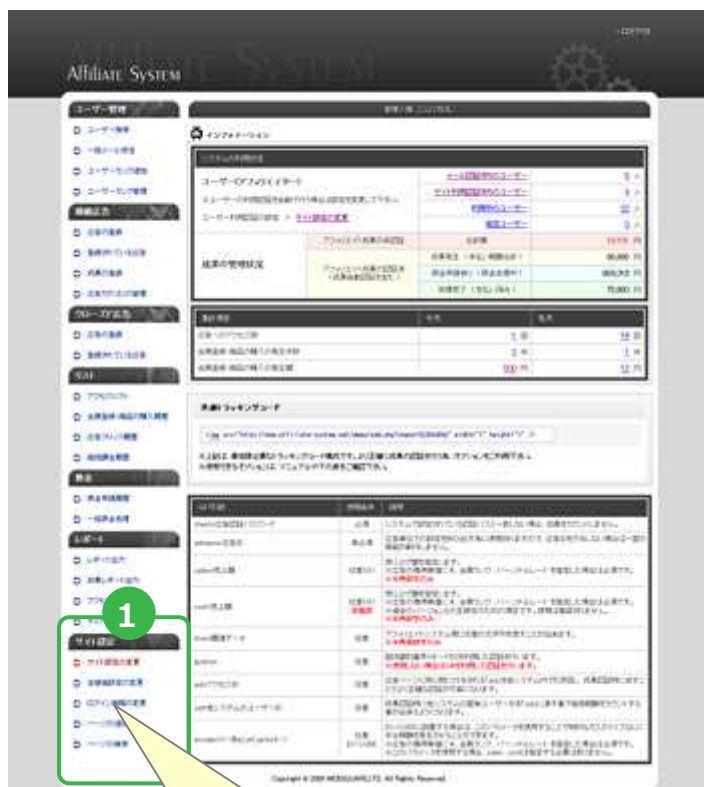
メールアドレス : admin@example.com

パスワード : admin

2-2.管理画面へログイン（2）

ログインアカウントの設定

管理画面にログイン後、必ずログインアカウントを変更してください。
安全にご利用いただくためにも、定期的パスワードを変更することをお薦めします。



- 1 管理メニュー「**ログイン情報の変更**」をクリックします。

ログイン情報の変更

- 2 メールアドレスとパスワードを変更します。

2-3.SSLの導入について

独自SSLを契約されていてシステムに独自SSL導入して頂く場合、下記の設定ファイルを変更してください。
SSLの設定ファイル「./custom/extends/sslConf.php」をテキストエディタで開きます。

```
1 <?php
2 include_once './include/extends/SSLUtil.php';
3
4 1 //SSLへのリダイレクトを有効に
5 $CONFIG_SSL_ENABLE = true;
6
7 $CONFIG_SSL_MOBILE = false;
8
9 $CONFIG_SSL_ON_CHECK_FILES = Array(
10     'regist.php', 'edit.php', 'cart.php', 'login.php', 'reminder.php'
11 );
12
13 $CONFIG_SSL_OUT_CHECK_FILES = Array(
14     'template.php', 'activate.php', 'favorites.php', 'index.php', 'info.php', 'other.php', 'page.php',
15     'report.php', 'search.php', 'shop.php', 'template.php'
16 );
17
```

1 「SSLへのリダイレクトを有効に」より、設定を変更します。

※デフォルトでは「\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;」に設定されています。

「false」を「true」に変更してください。

【初期設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;

【変更後の設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = true;

これで、「SSLの導入」への設定が完了です。

3.その他

その他、インフォメーションです。

3-1.エラー対処方法

3-2.インフォメーション

3.その他

3-1.エラー対処方法

Parse error:syntax error, unexpected T_OBJECT_OPERATOR in
./include/ccProc.php on line 592

A

上記のようなエラーが出た場合、お使いのPHPバージョンが5ではない可能性があります。
PHP 5が利用可能なサーバーに移転をお願い致します。

3-2.インフォメーション

ご自身での設置が困難な場合は、是非システム設置代行サービスをご利用ください。

■システム設置代行サービス料：31,500円

※サーバーが動作環境を満たしていないことにより、動作しない場合は、別のサーバーを準備して頂く必要がございます。

※事前にシステムの動作確認済みのサーバーをご紹介させて頂くことも可能です。

<アップデートについて>

<http://www.websquare.co.jp/update.html>

<アップデート手順>

http://www.websquare.co.jp/update_flow.html